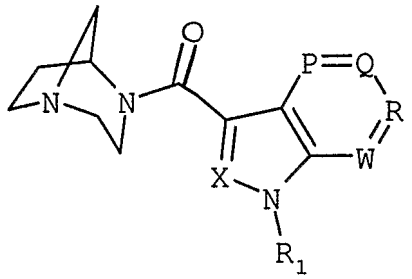
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2007-517838(P2007-517838A)
【公表日】平成19年7月5日(2007.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-025
【出願番号】特願2006-548338(P2006-548338)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 487/08 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 519/00 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/551 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/28 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/02 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/18 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 9/04 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/16 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/14 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 487/08 ＣＳＰ
Ｃ０７Ｄ 519/00 ３１１
Ａ６１Ｋ 31/551
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 25/02
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 25/18
Ａ６１Ｐ 9/00
Ａ６１Ｐ 9/04
Ａ６１Ｐ 43/00 １１１
Ａ６１Ｐ 25/16
Ａ６１Ｐ 25/14

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年4月28日(2011.4.28)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
塩基の形態、溶媒和物の形態又は酸付加塩の形態の、一般式（Ｉ）の純粋な鏡像異性体形態又は鏡像異性体混合物形態の化合物

【化１】



(I)

［式中、
Ｘは、窒素原子又は一般式Ｃ－Ｒ$_2$の基を表し、
Ｐ、Ｑ、Ｒ及びＷは、互いにそれぞれ独立に、窒素原子又は一般式Ｃ－Ｒ$_3$の基を表し、
Ｒ$_1$は、水素原子又は（Ｃ$_1$－Ｃ$_6$）アルキル基を表し、
Ｒ$_2$は、（Ｃ$_1$－Ｃ$_6$）アルキル基を表し、
Ｒ$_3$は、水素若しくはハロゲン原子又は（Ｃ$_1$－Ｃ$_6$）アルキル基、（Ｃ$_1$－Ｃ$_6$）アルコキシ基、ニトロ基、アミノ基、トリフルオロメチル基若しくはシアノ基、又は一般式－ＮＲ$_4$Ｒ$_5$、－ＮＲ$_4$Ｃ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－ＮＲ$_4$Ｃ（＝Ｏ）ＮＲ$_5$Ｒ$_6$、－ＮＲ$_4$Ｃ（＝Ｏ）ＯＲ$_5$、ＮＲ$_4$Ｓ（＝Ｏ）$_2$ＮＲ$_5$Ｒ$_6$、－ＯＲ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）ＯＲ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）ＯＮＲ$_4$Ｒ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）ＳＲ$_5$、－Ｃ（＝Ｏ）ＯＲ$_5$、Ｃ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－Ｃ（＝Ｏ）ＮＲ$_4$Ｒ$_5$、－ＳＲ$_5$、－Ｓ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－Ｓ（＝Ｏ）$_2$Ｒ$_5$若しくは－Ｓ（＝Ｏ）$_2$ＮＲ$_4$Ｒ$_6$の群、又は｛ハロゲン原子及び（Ｃ$_1$－Ｃ$_6$）アルキル基、（Ｃ$_1$－Ｃ$_6$）アルコキシ基、ニトロ基、アミノ基、トリフルオロメチル基若しくはシアノ基、又は一般式－ＮＲ$_4$Ｒ$_5$、－ＮＲ$_4$Ｃ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－ＮＲ$_4$Ｃ（＝Ｏ）ＮＲ$_5$Ｒ$_6$、－ＮＲ$_4$Ｃ（＝Ｏ）ＯＲ$_5$、ＮＲ$_4$Ｓ（＝Ｏ）$_2$ＮＲ$_5$Ｒ$_6$、－ＯＲ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）ＯＲ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）ＯＮＲ$_4$Ｒ$_5$、－ＯＣ（＝Ｏ）ＳＲ$_5$、－Ｃ（＝Ｏ）ＯＲ$_5$、－Ｃ（＝Ｏ）ＮＲ$_4$Ｒ$_5$、ＳＲ$_5$、－Ｓ（＝Ｏ）Ｒ$_5$、－Ｓ（＝Ｏ）$_2$Ｒ$_5$若しくは－Ｓ（＝Ｏ）$_2$ＮＲ$_4$Ｒ$_6$の群から選択される１つ以上の基によって必要に応じて置換される｝フェニル基を表し、
又は、Ｒ$_3$は、イミダゾール環、ピリジン環、ピリダジン環、ピリミジン環、ピラゾール環、ピラジン環、トリアゾール環、キノリン環、イソキノリン環、テトラゾール環、フラン環、チオフェン環、チアゾール環、イソチアゾール環、オキサゾール環、イソキサゾール環、ピロール環、テトラヒドロキノリン環、テトラヒドロイソキノリン環、インドール環、ベンズイミダゾール環、ベンゾフラン環、ジヒドロベンゾフラン環、シンノリン環、インダゾール環、フタラジン環、トリアジン環、イソインドール環、オキサジアゾール環、チアジアゾール環、フラザン環、ベンゾフラザン環、ベンゾチオフェン環、ジヒドロベンゾチオフェン環、ベンゾトリアゾール環、ベンゾチアゾール環、ベンズイソチアゾール環、ベンゾオキサゾール環、ベンズイソキサゾール環、キナゾリン環、キノキサリン環、ナフチリジン環、ジヒドロキノリン環、ジヒドロイソキノリン環、フロピリジン環、ジヒドロフロピリジン環、ピロロピリジン環、チエノピリジン環、ジヒドロチエノピリジン環、イミダゾピリジン環、ピラゾロピリジン環、オキサゾロピリジン環、イソキサゾロピリジン環、イソキサゾロピリジン環、チアゾロピリジン環、イソチアゾロピリジン環、ピロロピリミジン環、フロピリミジン環、ジヒドロフロピリミジン環、チエノピリミジン環、ジヒドロチエノピリミジン環、イミダゾピリミジン環、ピラゾロピリミジン環、オキサゾロピリミジン環、イソキサゾロピリミジン環、チアゾロピリミジン環、イソチアゾロピリミジン環、フロピラジン環、ジヒドロフロピラジン環、ピロロピラジン環、チエノピラジン環、ジヒドロチエノピラジン環、イミダゾピラジン環、ピラゾロピラジン環、オキサゾロピラジン環、イソキサゾロピラジン環、チアゾロピラジン環、イソチアゾロピラジン環、フロピリダジン環、ジヒドロフロピリダジン環、ピロロピリダジン環、チエノピリダジン環、ジヒドロチエノピリダジン環、イミダゾピリダジン環、ピラゾロピリダジン環、

オキサゾロピリダジン環、イソキサゾロピリダジン環、チアゾロピリダジン環又はイソチアゾロピリダジン環から選択される基を表し、

R_4、R_5及びR_6は、互いにそれぞれ独立に、ハロゲン原子又は直鎖状若しくは分岐状（C_1－C_6）アルキル基、直鎖状若しくは分岐状（C_2－C_6）アルケニル基、又は直鎖若しくは分岐状（C_2－C_6）アルキニル基、又は（C_3－C_8）シクロアルキル基、（C_3－C_8）シクロアルキル（C_1－C_3）アルキル基、（C_4－C_8）シクロアルケニル基又はフェニル基を表し、

一般式NR_4R_5及びNR_5R_6の基は、これらを持つ窒素原子とともに、アジリジニル基、アゼチジニル基、ピロリジニル基、ピペリジニル基、アゼピニル基、ピペラジニル基、モルホリニル基、チオモルホリニル基、ピロリニル基、インドリニル基、ピラゾリニル基、ピラゾリジニル基、イミダゾリニル基、３Ｈ－インドリル基、キヌクリジニル基及びキノリジニル基から選択される基を形成することが可能である］。

【請求項２】

請求項１に記載の化合物からなることを特徴とする医薬。

【請求項３】

賦形剤と組み合わせた請求項１に記載の化合物を含有することを特徴とする医薬組成物。

【請求項４】

認知障害及び注意力障害もしくは運動障害、神経障害もしくは精神障害により引き起こされる障害の治療を目的とする、又は依存を誘発する物質の使用中止から引き起こされる症状の予防を目的とする、又は心臓、血管、動脈及び静脈病変の治療を目的とする医薬を調製するための、請求項１に記載の化合物の使用。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

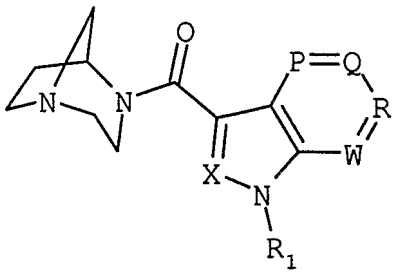
【訂正対象項目名】０００３

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【０００３】

【化２】



(I)

［式中、

Ｘは、窒素原子又は一般式Ｃ－R_2の基を表し、

Ｐ、Ｑ、Ｒ及びＷは、互いにそれぞれ独立に、窒素原子又は一般式Ｃ－R_3の基を表し、

R_1は、水素原子又は（C_1－C_6）アルキル基を表し、

R_2は、（C_1－C_6）アルキル基を表し、

R_3は、水素若しくはハロゲン原子又は（C_1－C_6）アルキル基、（C_1－C_6）アルコキシ基、ニトロ基、アミノ基、トリフルオロメチル基若しくはシアノ基、又は一般式－NR_4R_5、－NR_4C（＝Ｏ）R_5、－NR_4C（＝Ｏ）NR_5R_6、－NR_4C（＝Ｏ）OR_5、NR_4S（＝Ｏ）$_2NR_5R_6$、－OR_5、－ＯＣ（＝Ｏ）R_5、－ＯＣ（＝Ｏ）OR_5、－ＯＣ（＝Ｏ）ONR_4R_5、－ＯＣ（＝Ｏ）SR_5，－Ｃ（＝Ｏ）ＯR_5、Ｃ（＝Ｏ）R_5、－Ｃ（＝Ｏ）NR_4R_5、－SR_5、－Ｓ（＝Ｏ）R_5、－Ｓ（＝Ｏ）$_2R_5$若しくは－Ｓ（＝Ｏ）$_2NR_4R_6$の群、又は｛ハロゲン原子及び（C_1－

C_6）アルキル基、（C_1－C_6）アルコキシ基、ニトロ基、アミノ基、トリフルオロメチル基若しくはシアノ基、又は一般式－NR_4R_5、－NR_4C（＝O）R_5、－NR_4C（＝O）NR_5R_6、－NR_4C（＝O）OR_5、NR_4S（＝O）$_2NR_5R_6$、－OR_5、－OC（＝O）R_5、－OC（＝O）OR_5、－OC（＝O）ONR_4R_5、－OC（＝O）SR_5、－C（＝O）OR_5、－C（＝O）NR_4R_5、SR_5、－S（＝O）R_5、－S（＝O）$_2R_5$若しくは－S（＝O）$_2NR_4R_6$の群から選択される１つ以上の基によって必要に応じて置換される｝フェニル基を表し、

又は、R_3は、イミダゾール環、ピリジン環、ピリダジン環、ピリミジン環、ピラゾール環、ピラジン環、トリアゾール環、キノリン環、イソキノリン環、テトラゾール環、フラン環、チオフェン環、チアゾール環、イソチアゾール環、オキサゾール環、イソキサゾール環、ピロール環、テトラヒドロキノリン環、テトラヒドロイソキノリン環、インドール環、ベンズイミダゾール環、ベンゾフラン環、ジヒドロベンゾフラン環、シンノリン環、インダゾール環、フタラジン環、トリアジン環、イソインドール環、オキサジアゾール環、チアジアゾール環、フラザン環、ベンゾフラザン環、ベンゾチオフェン環、ジヒドロベンゾチオフェン環、ベンゾトリアゾール環、ベンゾチアゾール環、ベンズイソチアゾール環、ベンゾオキサゾール環、ベンズイソキサゾール環、キナゾリン環、キノキサリン環、ナフチリジン環、ジヒドロキノリン環、ジヒドロイソキノリン環、フロピリジン環、ジヒドロフロピリジン環、ピロロピリジン環、チエノピリジン環、ジヒドロチエノピリジン環、イミダゾピリジン環、ピラゾロピリジン環、オキサゾロピリジン環、イソキサゾロピリジン環、イソキサゾロピリジン環、チアゾロピリジン環、イソチアゾロピリジン環、ピロロピリミジン環、フロピリミジン環、ジヒドロフロピリミジン環、チエノピリミジン環、ジヒドロチエノピリミジン環、イミダゾピリミジン環、ピラゾロピリミジン環、オキサゾロピリミジン環、イソキサゾロピリミジン環、チアゾロピリミジン環、イソチアゾロピリミジン環、フロピラジン環、ジヒドロフロピラジン環、ピロロピラジン環、チエノピラジン環、ジヒドロチエノピラジン環、イミダゾピラジン環、ピラゾロピラジン環、オキサゾロピラジン環、イソキサゾロピラジン環、チアゾロピラジン環、イソチアゾロピラジン環、フロピリダジン環、ジヒドロフロピリダジン環、ピロロピリダジン環、チエノピリダジン環、ジヒドロチエノピリダジン環、イミダゾピリダジン環、ピラゾロピリダジン環、オキサゾロピリダジン環、イソキサゾロピリダジン環、チアゾロピリダジン環又はイソチアゾロピリダジン環から選択される基を表し、

R_4、R_5及びR_6は、互いにそれぞれ独立に、ハロゲン原子又は直鎖状若しくは分岐状（C_1－C_6）アルキル基、直鎖状若しくは分岐状（C_2－C_6）アルケニル基、又は直鎖若しくは分岐状（C_2－C_6）アルキニル基、又は（C_3－C_8）シクロアルキル基、（C_3－C_8）シクロアルキル（C_1－C_3）アルキル基、（C_4－C_8）シクロアルケニル基又はフェニル基を表し、

一般式NR_4R_5及びNR_5R_6の基は、これらを持つ窒素原子とともに、アジリジニル基、アゼチジニル基、ピロリジニル基、ピペリジニル基、アゼピニル基、ピペラジニル基、モルホリニル基、チオモルホリニル基、ピロリニル基、インドリニル基、ピラゾリニル基、ピラゾリジニル基、イミダゾリニル基、３Ｈ－インドリル基、キヌクリジニル基及びキノリジニル基から選択される基を形成することが可能である］。